

- ▶ モリサワカレンダー2019: かな語り その二 国宝「源氏物語絵巻」(徳川美術館蔵)より
- ▶ フォント あ・ら・かると: 「欧体楷書/欧体楷書 藤かな」
- ▶ DTP人生相談室: Illustratorの「フリーグラデーション」について
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本文: しまなみ
- 見出し: 日活正楷書体

www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

モリサワカレンダー2019

かな語り その二

国宝「源氏物語絵巻」(徳川美術館蔵)より

2019年のモリサワカレンダーは、2018年版に引続き、「源氏物語」鑑賞のために12世紀に製作されたと考えられている国宝「源氏物語絵巻」を取上げました。

徳川美術館様が所蔵する作品は、詞書の文字が帖によって趣を異にする点が特色の一つで、それらは4種類の書風に分類されています。カレンダーでは、連綿体の美しさ、のびやかさや風格、伝統的なスタイルと新しい感覚、重厚さや力強さなど、それぞれ特色のある文字の姿をご堪能いただける構成・デザインを目指しました。

デザインは、2018年版『かな語り』(その一)と同様、アートディレクター・勝井三雄先生にお願いしました。監修の徳川美術館学芸部長・四辻秀紀先生と綿密な打合せを重ねて練り上げた、文字と絵、料紙が優美に響き合うデザインは、典雅な絵巻の世界が独創的かつ生き生きと表現されています。



表紙

〈書風〉第三類

第五十帖「東屋一」

〈絵〉絵など取り出でさせたまひて、「右近に詞読ませて見たまふに」御所から帰宅した匂宮は、浮舟を中君の異母妹とは知らず強引に言い寄る。急場をまぬがれたものの、傷心の浮舟を慰めようと、中君は優しく語りかけ、絵物語などを出させて、右近に詞書を読ませつつ見せる。絵を見ながら、傍らでストーリーを音読する、当時の物語の鑑賞が描かれている。

一月 睦月

〈書風〉第四類

第四十四帖「竹河一」

〈見どころ〉戯れ心に応酬された和歌を綴る書の妙味
〈絵〉光源氏の子・薫は、ほかの若い貴公子たちよりも際立ち、瑞々しく優美な姿であった。正月の暮れ方、玉鬘の邸を訪れた薫は、念誦堂の戸口に誘われる。女房たちはいかにも色めいた態度をとらせたいような薫の様子に、前庭の梅の若木に色香をかけて和歌を詠み戯れかける。

二月 如月

〈書風〉第一類

第三十六帖「柏木二」

〈見どころ〉柏木の心情を表現するかのような段落としや重ね書きなどの技巧的な書法
〈絵〉源氏の妻・女三宮と通じ、自責の念にかられ



▲〈書風〉第一類

る柏木は、重い病気にかかる。柏木は見舞いに訪れた友人夕霧に対し、苦しい息の下からも自分の過ちをほのめかし、源氏にそれとなく詫びてくれるよう頼みつつ、別れを告げる。

三月 弥生

〈書風〉第一類

第三十六帖「柏木三」

〈見どころ〉和歌の流麗なかなと、大きく書かれた「人」のバランスの妙

〈絵〉女三宮と亡き柏木の不義の子である薫の誕生50日の祝いの席で、薫を我が子として初めて抱きあげる。若き日の藤壺中宮と犯した過ち、柏木の薄幸、女三宮の心痛、幼い薫のこれからの運命を想い、心の葛藤に苦しむ源氏は、皮肉を込めて女三宮に和歌を詠みかける。

四月 卯月

〈書風〉第四類

第四十四帖「竹河二」

〈見どころ〉肥瘦にとんだリズムカルな連綿体
〈絵〉夕闇の迫る春三月の玉鬘の邸。大君・中君の姉妹が、幼いときから争ってきた中庭に

咲く桜の所有権を賭けて、碁の勝負を争う。侍女たちも居並んで囁き立て、数々の歌を詠み交わす。折しも訪れていた蔵人少将は、夕暮れの霞の中に見える大君の姿を垣間見て、いっそう恋心を募らせる。

五月 皐月

〈書風〉第二類

第十五帖「蓬生」

〈見どころ〉金銀箔散らしに波模様を施した料紙とのびやかに染筆された書の共鳴

〈絵〉初夏のある雨上がり月夜、松にかかる藤の花に惹かれ、源氏は荒れ果てた屋敷に立ち寄る。月の光に照らし出される雨露に濡れた庭の叢を、従者に露を払わせながら歩を進める。そこは源氏の再訪を待ち続けた末摘花の変わり果てた邸で、源氏はその誠実さに心打たれ和歌を詠む。



▲〈書風〉第二類

六月 水無月

〈書風〉第三類

第四十九帖「宿木二」

〈見どころ〉気品に満ちて麗しく、非の打ちどころのない六君の佇まいを形容した言葉

〈絵〉匂宮と左大臣夕霧の娘六君との婚姻3日目の宴の翌朝。匂宮は中君を愛しいと思いつつ、20歳を一つ二つ越えてまさに「さかりの花」と見える麗しく品格に満ちた六君の陽光に映し出される姿を見て、一層心惹かれていく。

七月 文月

〈書風〉第一類

第三十七帖「横笛」

〈見どころ〉匂い立つような紫と蘇芳の暈かし染めの料紙と響き合うかのように流麗で抑揚のある文字

〈絵〉柏木の死後、その妻落葉宮と母一条御息所を訪れた夕霧は、柏木の遺愛の笛を贈られる。自邸に戻った夕霧の夢に柏木の亡霊があらわれ、これに怯えたか赤児が激しくなく。物の怪退散のために散米が行われ、夕霧の妻・雲居雁は乳を含ませ、夫に恨み言をいう。

八月 葉月

〈書風〉第三類

第四十九帖「宿木一」

〈見どころ〉「の」の字にうかがえるかなの豊かなバリエーション

〈絵〉娘の女二宮の将来を薫に委ねようと望む今上帝は、宮廷の一室に薫を召して碁の相手させせる。帝はその勝負に託けて暗に女二宮の降嫁をほのめかす。帝の意図を悟った薫は即答を避けて庭に咲く菊の一枝を手折り、辞退の気持ちを和歌に詠む。

九月 長月

〈書風〉第三類

第五十帖「東屋二」

〈見どころ〉墨の濃淡を活かした、のびやかな筆運び

〈絵〉秋の雨がそぼ降り、庭先の秋草(葎)も間に包まれた頃、薫は思いを伝えようと浮舟が隠れ住む小家を訪ねる。弁尼が思い悩む浮舟を説得する。その成り行きを鄙びた縁側で待つ薫に冷たい雨が降りかかる。薫は中空を眺めつつ、逸る気持ちを和歌に詠む。

十月 神無月

〈書風〉第三類

第四十九帖「宿木三」

〈見どころ〉「ほのめくかぜ」が吹き抜けているかのように右になびく和歌



▲〈書風〉第三類

〈絵〉秋の夕暮れ、久しぶりに身重の中君のもとを訪れた匂宮は、中君と薫の仲をいろいろと邪推しつつ、中君のすぐれぬ心を紛らわせようと端近に座し琵琶を弾く。中君は、ひととき怒みを忘れたかのように聞き入るが、匂宮の心移りを歌に託し、自分の身のほどからくる辛さなのかと涙ぐむ。

十一月 霜月

〈書風〉第二類

第十六帖「閑屋」

〈見どころ〉力強く、風格漂うリズムカルな筆致と逢坂の関の紅葉をイメージした料紙

〈絵〉九月(旧暦)のつごもり、紅葉の色々にこきまぜて、霜枯れの草の風情も豊かに見えわたる逢坂の関で、夫常陸介とともに任国に赴いていた空蟬が任満ちて上京の途中、石山に詣でる源氏の一行と邂逅する。かつて源氏がただ一度逢瀬をともにした空蟬は心に秘めた想いを歌に詠む。

十二月 師走

〈書風〉第四類

第四十五帖「橋姫」

〈見どころ〉有明の「月」のもとで語りはじめられる恋の行方と歩調を合わずかのような重厚な運筆

〈絵〉まだ明けやらぬ晩秋の早朝、八宮の留守中に宇治を訪れた薫は、有明の月の風情が美しく霧が立ち込める中、箏の琴と琵琶を合奏する美しい姉妹、大君と中君の姿を垣間見る。



▲〈書風〉第四類

国宝「源氏物語絵巻」の絵と文字

四辻秀紀

紫式部が著した『源氏物語』は、400字詰め原稿用紙で2,400枚におよぶ日本を代表する古典文学として世界的にも非常に有名な作品で、抄出訳は20言語に翻訳され読まれています。物語は四代の天皇にわたる約70年におよび、登場人物はおよそ500人のにぼり、近代小説を先取りするような物語像を創造し、人間の実生活の中では探り得ることが難しい真実のさまを、虚構を通して探求しようとしています。

墨線による下図を描き、構図に微妙な修正を加えながら彩色をほどこし、さらに顔の輪郭や目鼻、あるいは衣や調度の文様を描き起こす「作り絵」によって描かれた絵は、「引目鉤鼻」や「吹抜屋台」の手法とともに、『源氏物語』の世界を展開させています。それは単にストーリーのみを図示したのではなく、典雅で美しい料紙に流暢な筆致でためられた詞書とがあいまって、物語の抒情性や登場人物の心理の動きまでも巧みに書き出されています。その詞書は、製作年代を類推させる新旧の5種類の書風によって書写されています。

【詞書の5種類の書風】

- 〈第一類〉 柏木・横笛・鈴虫・夕霧・御法
- 〈第二類〉 蓬生・関屋・絵合・松風

〈第三類〉 若紫・末摘花・少女・早蕨・宿木・東屋

〈第四類〉 竹河・橋姫

〈第五類〉 薄雲・螢・常夏

※太字はカレンダー掲載

第一類：11世紀以来の伝統を引き継ぐ美しい連綿体。時には重ね書きや段落としなど、本絵巻中最も優れた“手書き”によって染筆されたものとみられる。

第二類：部分的に側筆を交えながらのびやかで風格のある筆致。

第三類：行間のゆとりが少なく、筆を細かく運ぶ特徴があり、伝統的なスタイルを示しつつ新しい感覚が看取できる書風。

第四類：自由奔放で肥瘦にとみ、側筆の重厚で力強い藤原忠通にはじまる法性寺流の書風。

第五類 (断簡となって諸家に分蔵)：肥瘦をつけつつ力強く張りのある筆跡。

【『源氏物語』の要点】

◆時代と作者

- 作者の紫式部 (生没年不詳) は、平安時代 (11世紀)、関白藤原道長の娘である中宮彰子に仕えた女房 (侍女)。
- 当時の代表的な文人で、幼少から漢籍や歌書、物語などに親むほか、箏の演奏にも秀でていたらしい。

- 20代後半で、20歳以上年上の藤原宣孝と結婚するが、わずか3年後に宣孝が他界し、中宮彰子のもとに出仕した。
- 紫式部の生没年は不詳だが、40代前半から半ばで早逝したらしい。

◆物語の構成

時の帝、桐壺院の愛情を一身に受けていた桐壺更衣が産んだ美しい皇子、主人公光源氏の生涯を軸に平安時代の貴族の世界を描いている。その美貌と聡明さによって、幼少から光君と呼ばれた光源氏を中心に描かれる波瀾万丈の恋物語、生と死をめぐるドラマチックな展開は、今日まで人々を魅了してきた。物語の構成は、三部に分かれる。各部のあらすじは次の通り。

第一部：第一帖「桐壺」から第三十三帖「藤裏葉」(39歳の春3月～冬10月)までは、光源氏の若き日の恋物語。

第二部：第三十四帖「若菜上」から第四十一帖「幻」(52歳の正月～年末)までは、光源氏が晩年出家を決意するまでが描かれている。

第三部：第四十二帖「匂宮」から第五十四帖「夢浮橋」は、光源氏が出家した後 (没後)、光源氏の次男 (実は女三宮と柏木の不義の子) である薫を主人公とする物語。

(『モリスワカレンダー2019 見どころガイド』より抜粋・転載)

永

おうたいかいしよ

欧体楷書 / 欧体楷書

ふじ 藤かな

▶ 今月のあ・ら・かるとでは、端正で上品な印象をもつ「欧体楷書 / 欧体楷書 藤かな」をご紹介します。

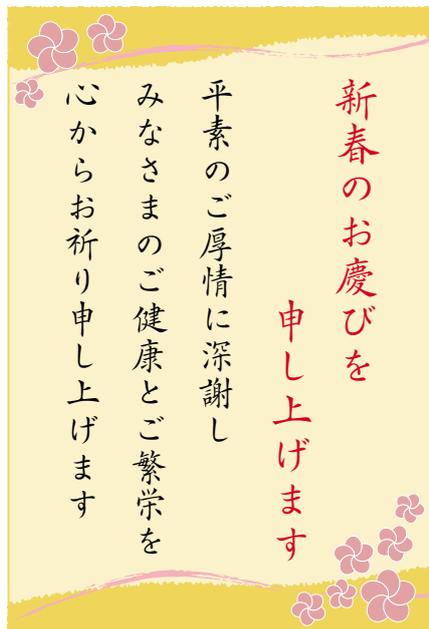
「欧体楷書」は、中国の唐の時代に楷書の名筆として知られた欧陽詢 (おうようじゅん) の書に倣ってデザインされた楷書体です。欧陽詢の書の特徴である端麗な風姿を残し、それぞれの文字本来の個性や大きさを損なわないように、のびのびと仕上げられています。各文字の持つフォルムと余白がひびき合い、文章を組んだ際にも颯爽とした上品な雰囲気演出します。

また「欧体楷書」の漢字と組み合わせ、かな書体の「欧体楷書 藤かな」もご利用いただけます。「欧体楷書 藤かな」は「欧体楷書」のかなに比べて下に向かって広がるようなゆったりとしたプロポーションをもち、品のある華やかさや、やさしく女性的なイメージを演出することができます。

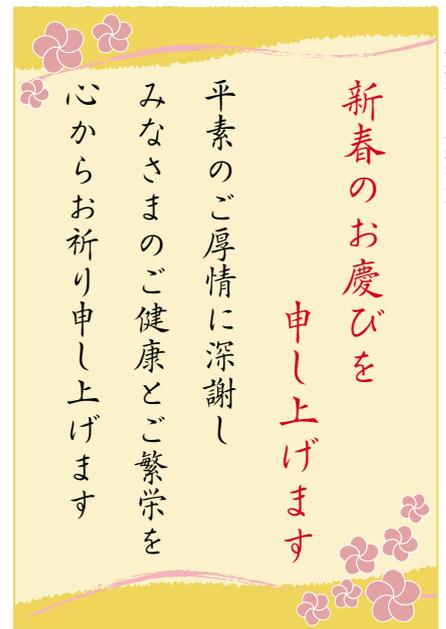
高い品格を感じさせる「欧体楷書」と、雅でやさしげなイメージを描き出す「欧体楷書 藤かな」。

な。あらたまったメッセージを発信する機会が多い新年ですが、場面に応じて書体を選ぶことで、まごころを書体に乘せて伝えてみてはいかがでしょうか。

「欧体楷書」および「欧体楷書 藤かな」は、『MORISAWA PASSPORT』をご契約のお客様はいつでもインストールしてご利用いただけます。『MORISAWA Font SelectPack 1 / 3 / 5 / PLUS』、および WebFontサービス『TypeSquare』でもご利用いただけます。



◀ 欧体楷書



◀ 欧体楷書 + 欧体楷書 藤かな

飯田橋の母が斬る!

DTP人生相談室

人生相談師「飯田橋の母」こと武蔵野ふみ子先生が印刷会社勤務時代の経験を活かし、迷える現代人のお悩みをDTPの力で解決します。



今回のテーマは — Illustratorの「フリーグラデーション」について

お悩み「年初に立てた目標をやり遂げたい」

ペンネーム：ピンクのがま口財布

ふみ子先生明けましておめでとうございます！ 毎年年初に今年の目標を立てますが、いつも長続きしません。

今年の目標は、家計簿を続けて「貯められる女」になることです。家計簿は今まで何度かチャレンジしてきましたが、いつも続きませんでした。

何かアドバイスをいただけませんかでしょうか？

明けましておめでとう。年初に目標を立てると、気持ちが引き締まるわね。一方で、何かを始めるにあたって、1月が必ずしも最適じゃないこともあるわ。家計簿も何気なく1月始まり12月締めにしがちだけど、年始はイレギュラーな支出が多いし、お子さんがいるご家庭は学年が変わる4月始まりの方が予算管理しやすいケースもある。他にも「毎日ウォーキングをする」って目標を立てても、1月2月は寒いから続かない、ってこともあるわ。

もちろん、最適な時期まで待っていたら1年が終わっちゃうから、やる気が出たとき始めるべきよ。ただ、始めてみてそれが最適な時期じゃなかった場合、「毎日」「完璧」に続けるのは難しい日もあるかもね。完璧にできないとすぐに投げ出しちゃう人もいるけど、試行錯誤しながら年末まで続けることを目標にしましょう。物事の達成度は、0点が100点かの2択じゃなくて、「できない」と「完璧」の間を、グラデーションのように段階を踏むものよ。



グラデーションといえば、昔オペレータだったころ、Illustratorでよく作成していたわ。昔からAdobeソフトでは、線状・円状の1方向に色が変わるグラデーションがくれたんだけど、Illustrator CC2019では「フリーグラデーション」(図①参照)機能がついたわ。オブジェクトの中のクリックした箇所や、2点を結ぶラインを起点に色が変われるようになって、より複雑なグラデーションが作成できるようになったの(図②参照)。きっと今年は、この機能を使った今までに見えない感じのデザインが世に多く出てくるでしょう(図③参照)。

つまり何が言いたいかというとね。「できない」と「完璧」の間にグラデーションがあるといっても、複雑な現代社会では、登場する色も、グラデーションがかかる向きもさまざま。予測不能だし、パターンも無限大よ！ 続けていると理想通り完璧にいかないこともあるでしょう。でも、できない自分を責めちゃだめよ。他人と比べる必要もないわ。あなたらしく続けてね！



① ふみ子's ポイント
グラデーションパネルに、「フリーグラデーション」のボタンが新たに追加されたわ。クリックするとフリーグラデーションを設定できるわ。



② ふみ子's ポイント
クリックしたポイントか、2点をつなぐラインに対してグラデーションの色を設定できるわ。パネル上のボタンで切り替えてね。



③ ふみ子's ポイント
フリーグラデーションは一つのオブジェクトの中に複数設定できるから、今までにない新しい効果が出せるわ。いろいろ触って試してみてね。

モリサワ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャルサポーター契約を締結 ～「フォントデザイン & 開発サービス」カテゴリースポンサーに決定～

モリサワは、このたびの東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で、専用フォントの提供を通じて、情報が正しく迅速に伝わるよう支援するとともに、東京2020オフィシャルサポーターとして大会の成功とスポーツの発展に貢献してまいります。

詳しくは www.morisawa.co.jp/about/news/4054

編集後記

新年おめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」と申しますが、もう計画は立てられましたか。節目となる2020年だけではなく、2019年も大きな変革の年です。「新元号」「消費税増税」など、生活にも大きな変化が現れる一年となることでしょう。ちなみに新天皇即位日は祝日と決まりましたが、新元号となることで婚姻届の提出が一気に増えることが予想されています。5月1日はマニアだけではなく、どうやら役所にとっても特別な日となりそうです。

✉ E-Mail: m-news@morisawa.co.jp

発行:株式会社モリサワ 企画・編集:プリンティング事業部 営業企画部
※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ www.morisawa.co.jp

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel:03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel:022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel:052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel:092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田ビル2F Tel:099-252-2255